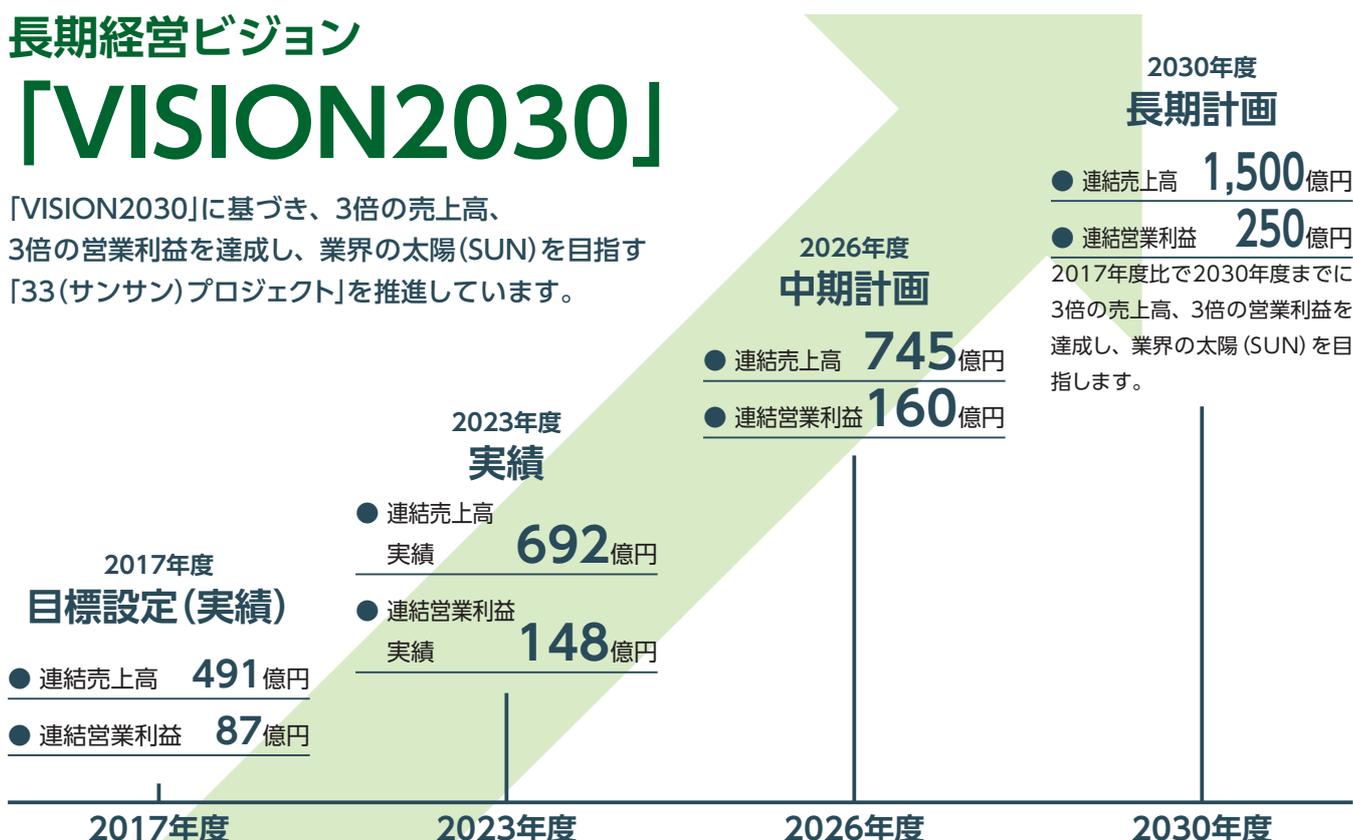


長期経営ビジョン「VISION2030」と 長期経営計画の進捗状況

ダイセキグループでは海外メジャーと競り合える規模と内容を備えるために、2018年度に策定した長期経営ビジョン「VISION2030」に取り組んでいます。

長期経営ビジョン 「VISION2030」

「VISION2030」に基づき、3倍の売上高、
3倍の営業利益を達成し、業界の太陽(SUN)を目指す
「33(サンサン)プロジェクト」を推進しています。



ダイセキグループの基本戦略

国内エリア戦略

- 既存事業所間連携による希薄なエリアの濃密化
- 新規事業拠点開発により新規エリアへの進出

海外エリア戦略

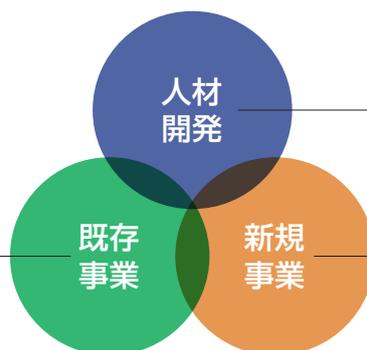
- アジア市場への進出を念頭に市場調査を開始

技術・設備開発

- リサイクル率の上昇
- 新規技術・設備導入による取扱品目の拡大

グループ戦略

- 人材交流を含めた連携強化によるシナジーの拡大



職場環境

- 働きがいも成長も望める職場環境
- ジェンダーフリーな職場環境

人材育成

- グループ企業間の人材交流の活発化
- 教育制度の拡充
- 新規プロジェクト社内公募制の実施

M&A戦略

- 「環境」「リサイクル」をキーワードとするM&A

アライアンス戦略

- 異業種も含めたアライアンスの推進

今後の「VISION2030」の具体的目標と進捗状況

2024年4月の決算発表で開示した「VISION2030」の具体的目標と進捗状況は以下の通りです。
今後は毎年進捗状況を報告します。

① 3事業拠点の拡充

- 広島事業所 2024年3月稼働開始
- 他2拠点(北海道、東北地方他) 検討中

② 3つの新たな主力事業の確立に向けて

- 扱い品目を気体に拡大

MOFという吸脱着剤を使い排ガスからアンモニアを選択的に吸着・回収(2023年10月2日開示)

	2026年度	2030年度
売上高計画	300百万円	3,000百万円
営業利益計画	100百万円	1,000百万円

- 工場以外の顧客に拡大

蒲郡市との連携協定を締結し、家庭の一般廃棄物を分別・破砕、不燃物の除去、廃食油とブレンドしたバイオマス燃料生産の実証実験を実施。(2023年10月13日開示、実証実験は2024年2月に実施)

	2026年度	2030年度
売上高計画	500百万円	2,500百万円
営業利益計画	50百万円	250百万円

- 一般廃棄物及び廃プラスチック・段ボールリサイクル事業に参入

ダイセキ環境ソリューションが2023年4月に杉本商事グループをM&A

	2026年度	2030年度
売上高計画	2,200百万円	2,800百万円
営業利益計画	300百万円	400百万円

- その他

M&Aを含む新規ビジネスを3件立ち上げて、売上高500億円、営業利益50億円を目指す

「VISION2030」で2030年度までに目指すダイセキの将来像

- 時代の流れを読み取り新規ビジネスを生み出せる人材の育成
- カーボンニュートラルやサーキュラーエコノミーに貢献するビジネスの確立
- モノづくりを縁の下で支える資源循環プロバイダーとして社会から認められる
- 社員の幸福と活力の最大化を実現できる人事制度や職場環境の整備